

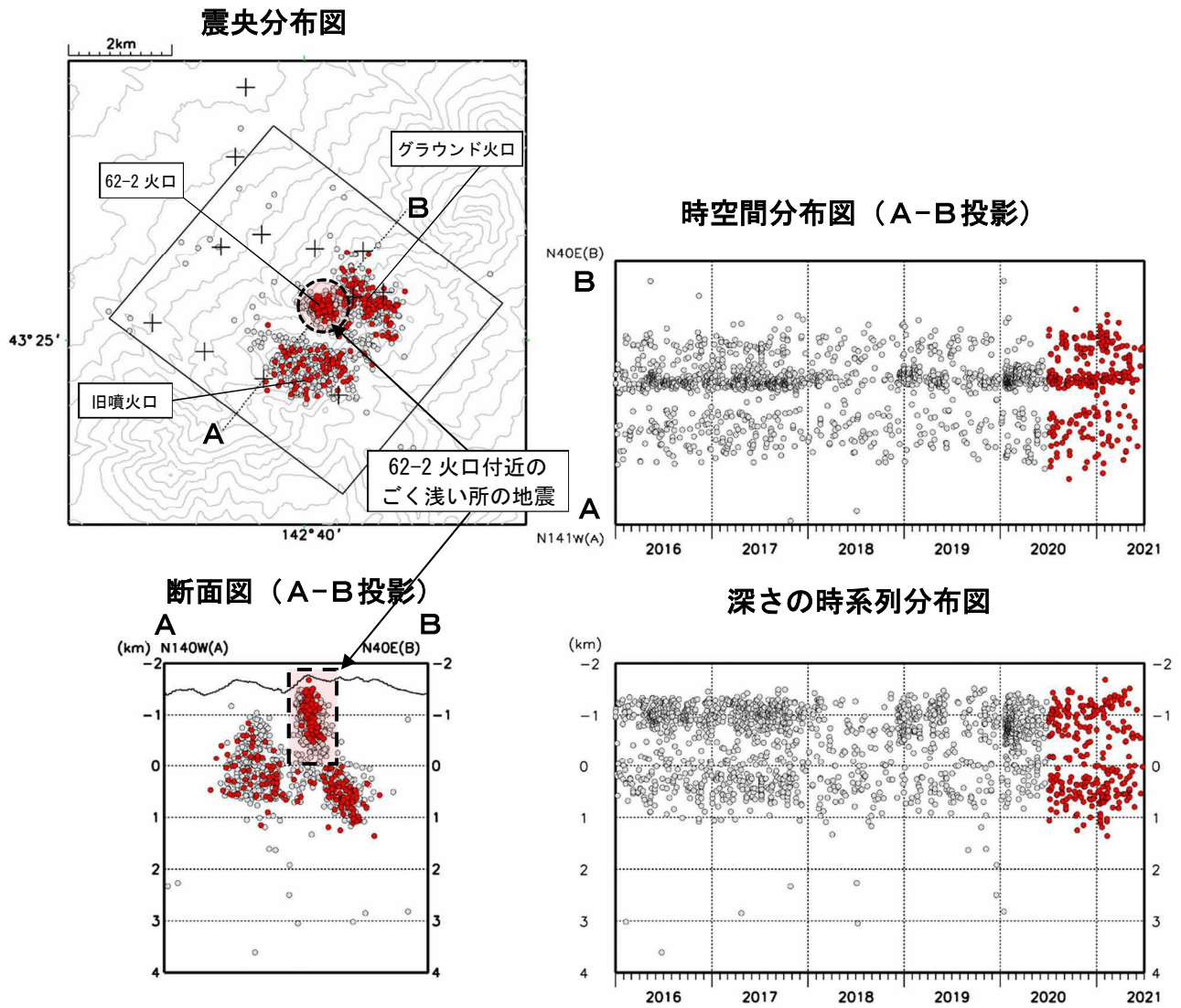


図9 十勝岳 火山性地震の震源分布 (2016年1月～2021年6月)
 ● : 2016年1月～2020年6月の震源 ● : 2020年7月～2021年6月の震源
 + : 地震観測点

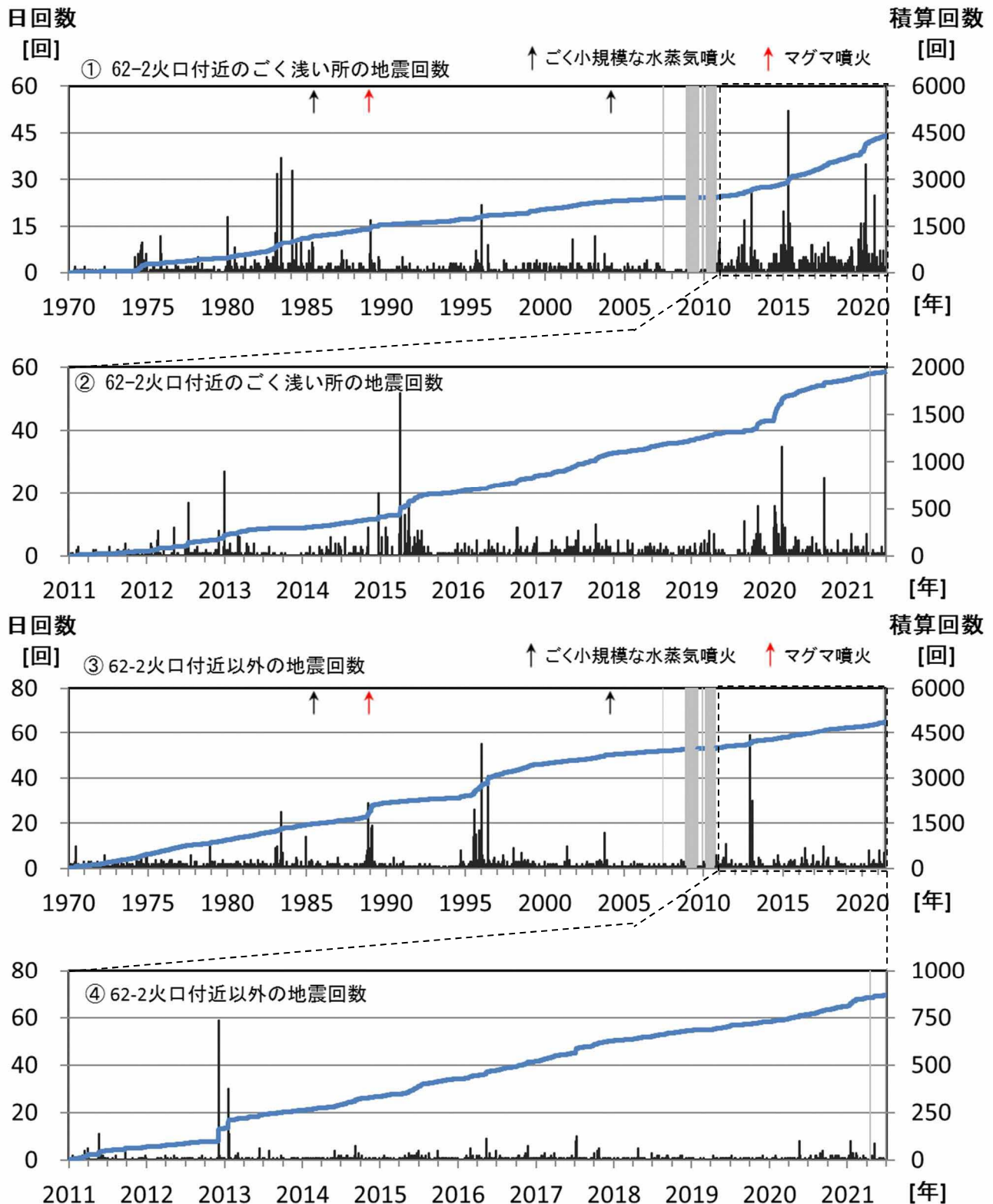


図10 十勝岳 地震の日回数及び積算回数 (①③：1970年～2021年6月 ②④：2011年～2021年6月)
硫黄沢観測点(山麓点)で計測した回数(計数基準：0.05 μ m以上)を示します。
①、②は主に62-2火口付近のごく浅い所(図9中の破線に囲まれた領域内)で発生したと推測されるB型地震の回数を示します。また③、④の「62-2火口付近以外」は、主にグラウンド火口周辺や旧噴火口付近などで発生したと推測されるA型地震の回数を示します。
図中の、青線は積算回数を示し、灰色の部分は欠測を示します。

- ・62-2火口付近のごく浅い所(図9中の破線で囲まれた領域内)で発生する地震は、山体浅部における火山ガスや熱水などの活動に関連して発生していると考えられます。

2018年11月～
気象庁の観測点に変更
→

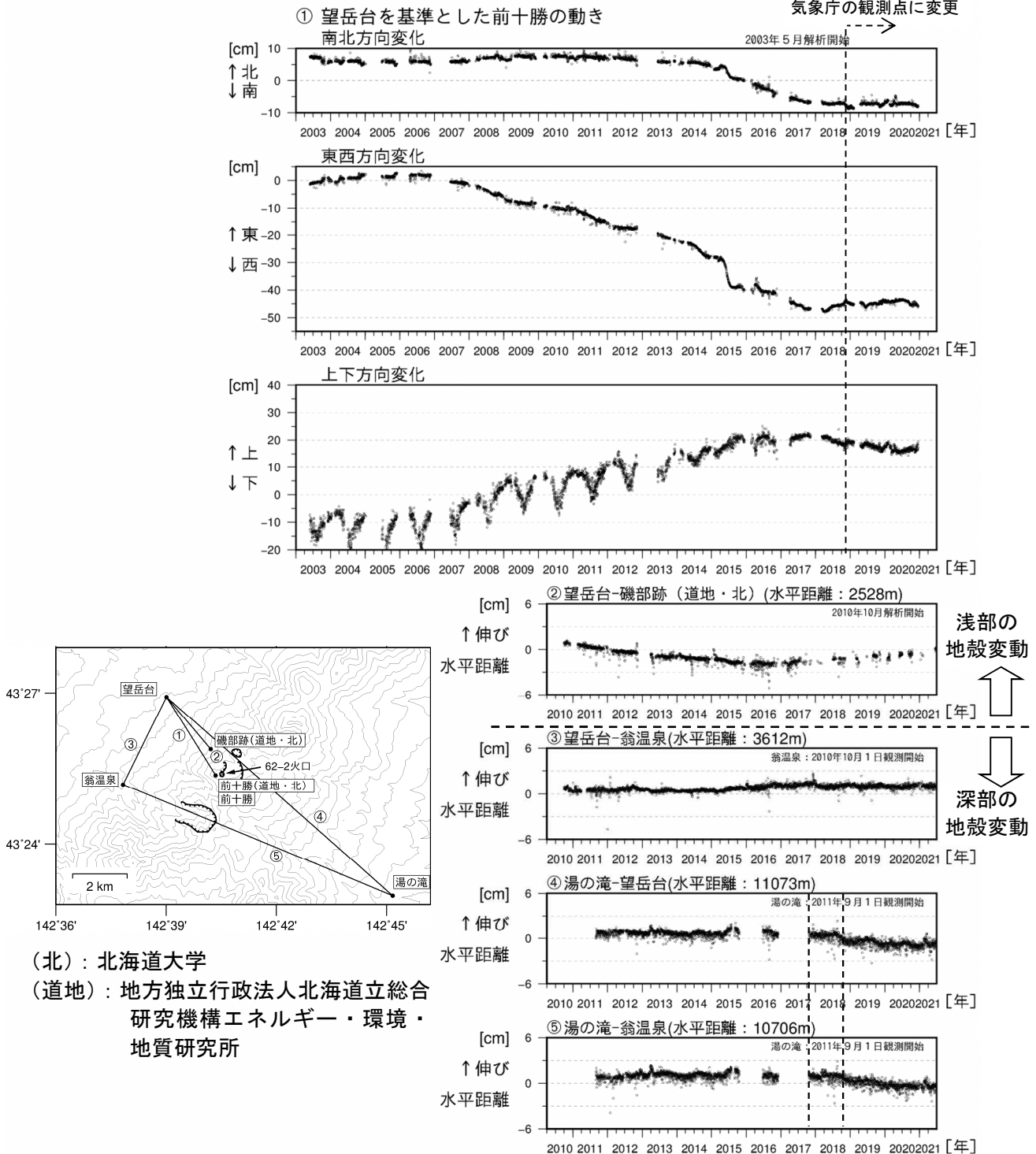


図11 十勝岳 GNSS連続観測による南北・東西・上下方向変化及び水平距離変化(2003年5月～2021年6月)と観測点配置図

グラフ①～⑤は観測点配置図の基線①～⑤に対応しています。
グラフ①～⑤の空白部分は欠測を示します。
グラフ④～⑤中の破線は、観測機器の交換時期を表します。
2010年10月と2016年1月に解析方法を変更しています。
前十勝観測点は2020年12月18日から欠測しています。

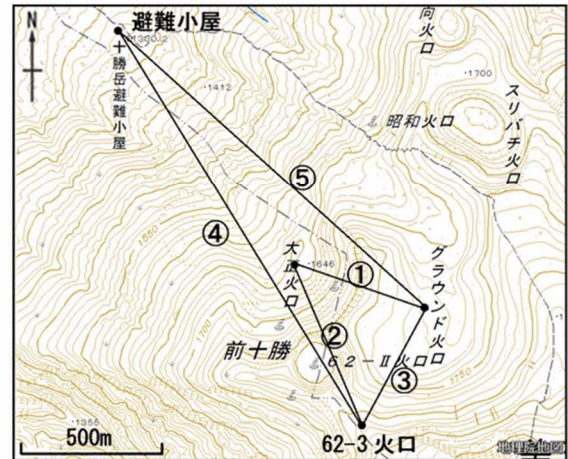
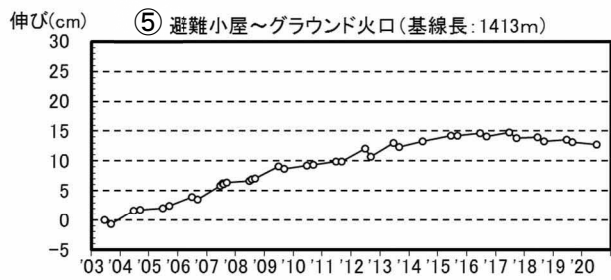
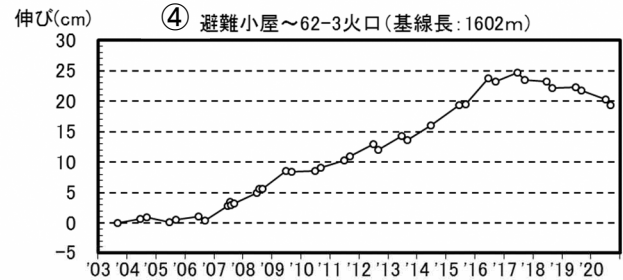
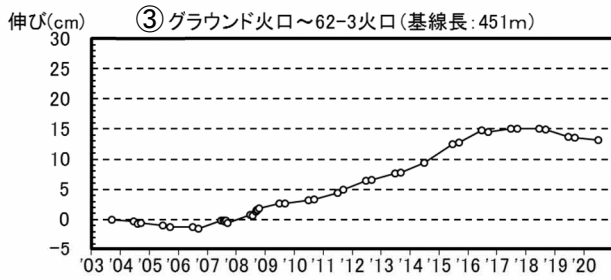
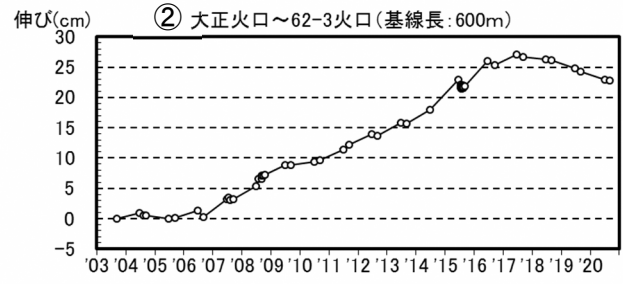
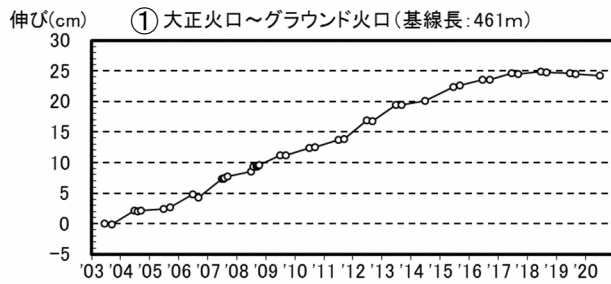


図12 十勝岳 GNSS繰り返し観測による基線長変化(2003年9月～2020年9月)及び観測点配置図
グラフ①～⑤は観測点配置図の基線①～⑤に対応しています。
2020年9月のグラウンド火口の観測データは欠測しています。